

奥尻町消防団出初式

檜山広域行政組合奥尻町消防団出初式が、1月3日に執り行われました。

出初式では、町内4分団の団員、婦人防火クラブ員による隊列のほか、消防車などの関係車両が列を組む、奥尻消防署前から海洋研修センターまでの約800mの区間でパレードを行い、小雪が舞うなか坪谷消防団長を中心に凛々しい姿を披露されました。

また、式典では多くの来賓の方々も参列し、坪谷消防団長から、防火・防災などへの固い決意が述べられるとともに、新村町長、麓議

会議長からは、安全・安心の暮らしや町づくりに欠くことのできない消防団に対する感謝と今後の活動に対する激励の言葉が贈られました。

※式典では次のとおり消防団員の永年勤労章等の表彰が行われましたのでご紹介します。

◆北海道消防表彰（知事）

◇30年（永年勤労章）

副分団長

水野 諭さん

◇20年（勤労章）

班長

若山 孝仁さん

◇10年（勤続表彰）

団員

櫛引 英史さん

大須田 亮平さん

◆北海道消防協会定例表彰

◇特別功績章

副分団長

田原 廣美さん

◇10年勤続章

団員

泉澤 輝基さん

まちの話題



▲式典の様子（パレードの様子は表紙に掲載）



「道南ドクターヘリ」運航開始

2月16日(月)より、道南ドクターヘリが運航されます!!

ドクターヘリとは？

ドクターヘリは、救急の専門医師と看護師が搭乗し、救急患者の病院への搬送時間を短縮するなど、救命率の向上や後遺症の軽減のほか、離島である奥尻町やへき地における救急医療体制及び災害時の医療救護体制を強化することを目的として導入されます。

地域の学校等グラウンドにドクターヘリが離着陸する場合もありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。また、離着陸時は強風等を伴いますので安全のため近づかないようご協力ください。

◆町内での離着陸地点（6箇所）

奥尻空港、ファミリーパーク、青苗中学校、奥尻小学校、奥尻中学校、さいの河原公園

ドクターヘリの要請方法は？

住民の皆さんはドクターヘリを直接要請することはできません。

119番通報などにより、救急車の出動要請を受けた消防や病院の判断により、ドクターヘリを要請することになります。

ドクターヘリ運航で暮らしがどう変わるの？

今まで奥尻町で搬送を必要とする重篤な患者が発生した場合、国保病院からの依頼により、町が北海道へ患者搬送を要請し、海上保安庁ヘリ等により、函館市内の病院に早くても4時間前後かけ患者を搬送していました。

ドクターヘリは、医師や消防の判断により直接要請することが可能となるため、119番通報の内容によっては、通報直後にヘリ要請することがあります。早ければ1時間程度で函館市内の病院へ患者を搬送できる場合があるため、患者の負担が大幅に軽減されるものと期待しています。

ドクターヘリの運航体制・時間は？

ドクターヘリは、市立函館病院救命救急センターを基地病院として函館空港に配備され、空港に担当医師や看護師が常駐し業務にあたります。

また、運航時間は日中のみとなっているので、ドクターヘリ要請事案があつた場合でも運航時間外や別事案への対応中の場合など、対応できない場合があります。

